

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

マイスプーン・マイフォーク



プログラムの概要

森林の中にはたくさんの木の枝が落ちています。雨風にうたれたり、雪の重みで折れたり、人の手によって除伐されたりしたものもあります。この活動は、森林の中から自分のお気に入りの小枝を拾ってきて、それをスプーン（フォーク）の柄に用い、自分だけのオリジナルスプーン（フォーク）を制作するものです。

一言で小枝といっても様々です。長さや太さ、樹皮の色や模様、曲がり具合や節の有無等の違いにこだわりを持って探せば、自分の作品にもより一層愛着がわくでしょう。

できあがったものは、世界に一つだけしかない自分だけのスプーン（フォーク）になります。

所要時間：1 時間～ 2 時間

マイスプーン・マイフォーク

1 活動のねらい

- ・材料集めをととして、様々な形や模様、手ざわりの木があることに気づく。
- ・素材をいかしたクラフト制作をととして、自然の中から得られる温もりや自然物の良さを体感する。
- ・自然の中から素材を採集する際のマナー等を守ることで、自然を大切にしようとする心情を養う。
- ・友達の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを認めあう。

2 活動のフィールド

- ・自然の家周辺の森ならどこでも可
- ・100人位まで

3 準備品

団体・個人で用意するもの：スプーンまたはフォークの先（売店で販売しています。各1本90円）
紙ヤスリ、スプレーニス、木工用ボンド、軍手、マジックペン
自然の家で用意するもの：電気ドリル、工作板、のこぎり、彫刻刀

4 活動の手順

- （1）事前学習（自然の家に来る前の学習）
- ・特になし

- （2）少年自然の家での活動

①自然の家周辺の森で材料を探します。

- ・スプーン（フォーク）の柄にするので、手で持ちやすい太さの枝を選びましょう。
- ・枯れ枝ではなく、除伐された中身の詰まった枝を使いましょう。
- ・のこぎりを持っていき、森の中で自分の使いたい長さに切って持ってきてもらいましょう。

②拾ってきた枝（直径1.5～2.0cm）を、スプーンの柄として使いやすい長さ（12～16cm）に、のこぎりで切ります。



③切断した面にヤスリをかけてなめらかにします。



④ 切った枝にスプーン(フォーク)を入れるために深さ3cmの穴をドリルであけます。ドリルの刃の先端から3cmのところにビニールの色テープを巻いておく穴あけの目安になります。また、前もって錐で下穴をあけておいてからドリルで穴をあけると失敗が少なくて済みます。(ドリルの刃は木工用Φ5mm)

④ーア 枝を万力ではさみます。
※枝は垂直に立てましょう



④ーイ 枝の中心部にドリルの先端を垂直にあてます。



④ーウ ドリルを作動させ、深さ3cmの穴をあけます。



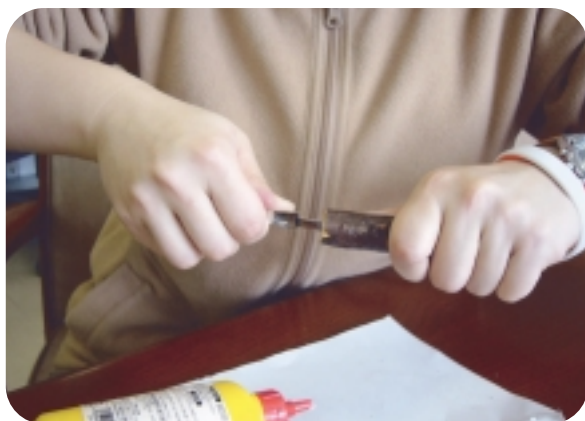
⑤ 切り取った枝に装飾をほどこします。
絵を描いたり、彫刻刀で模様をつけたりとよいです。



⑥ 柄の表面にニス(ニス)を塗ります。



- ⑦ スプーン（フォーク）の先端を
穴に差し込みます。



- ⑧ 穴の中に木工用ボンドを流し込み、穴をふさぎま
す。（※防腐効果が高まり、長持ちする）



作品例



ふりかえりの活動（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう）

- ・工夫したところや、特に頑張ったところを教えてください。（ふりかえり用紙があれば書く）
- ・友達の作品を鑑賞して、よいと思ったところを教えてあげましょう。
- ・自然の中から自分の気に入った枝を探してみて、どんなことに気づきましたか。

（3）事後学習（学校に帰ってから学習する内容）

- ・特になし

5 活動上の留意点

- （1）電動ドリルを使用する時は、必ず大人がそばにつくようにしましょう。
- （2）枝が古く中身が腐食して柔らかくなっていると、スプーンを差し込んでもすぐ抜けてしまうので、中身の詰まった枝を選ぶようにします。
- （3）製作したスプーンを野外炊事等で使用してみましょう。
- （4）枝を採取する際には、ヤマウルシに触らないよう事前にヤマウルシそのものを示す等して、十分に注意を促しましょう。

ねらい別活動プログラム集「マイスプーン・マイフォーク」

発行日：平成18年2月28日

発 行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編 集：濁川明男（上越教育大学教授）

執 筆：阿部一之（国立妙高少年自然の家専門職員）